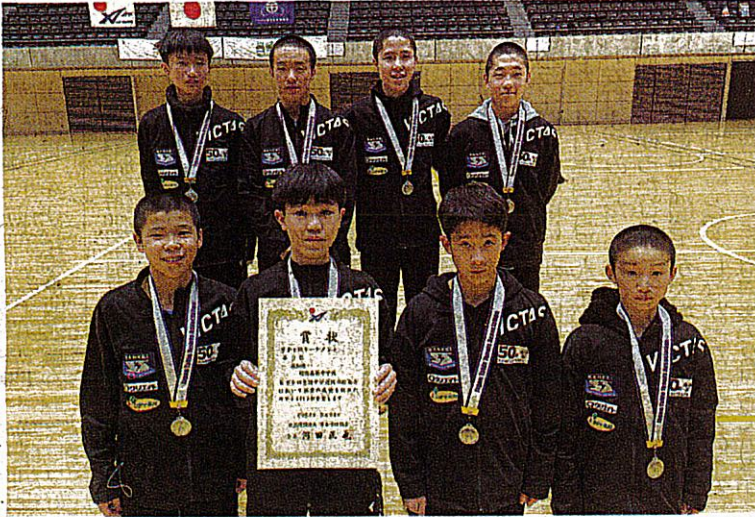


明德男女準V

卓球 全国中学選抜

卓球の全国中学選抜大会最終日は24日、群馬県高崎アリーナで団体決勝



男女そろって準優勝の明德。男子チーム上と女子チーム群馬県高崎アリーナ同校提供

た。同校が男女そろって表彰台に上がったのは2年連続。明德の男子は準決勝で益田(島根)にストレート勝ち。貝塚二(大阪)



との決勝は敗れたものの2-3と粘った。▽県関係記録▽男子団体決勝トーナメント1回戦 明德3-0上宮学園(大阪)▽準々決勝 明德3-0中間東(福岡)▽準決勝 明德3-1明徳

西川 3-0 中野
▽決勝 愛工大 3-0 明德
愛知 3-0 明徳
月原 3-1 長谷川
郡司 3-1 柳本
高里 3-0 青福井
浅里 3-0 青福井

明徳 3-0 吉田
市水 3-0 浦山
水元 3-0 川本
駒瀬 3-0 松東
吉田 3-0 山下
伊藤 3-2 明徳
佐藤 3-1 吉田
三島 2-3 水元
原山 2-3 大村
深川 3-2 田吉

「全中V」につながる粘り

明德は男子福永、女子吉田の両主将とも「夏の全中(全国中学校体育大会)では絶対優勝する」と誓った。これだけ粘り強い戦いができるのだから、大きなことを言っても恥ずかしくない。特に女子の決勝はすさまじかった。公立校ながら国際大会などの経験豊富な選手で固める貝塚二に対し、一歩も引かない真つ向勝負。併設高校の全国選抜大会と重なったため不在の佐藤利香監督に代わってベンチ入りした松本武士部長は「最後まで諦めない、素晴らしい戦いだった」と褒めちぎった。

第1単吉田、第2単駒瀬が敗れ、もう後がない0-2。しかし、水元・市場の1年生ペアが粘った。フルゲームの末に制して1点を返すと、続く第3単の大吉も3-2でこちらも1年生の村田。0-2から2ゲーム連取で2-2に戻す大熱戦を

演じた。ベンチで声をかけた分も1年生が取り返してくれた。向かっていく気持ちがいい」と舌を巻いた。一方の男子は中間東(福岡)との準々決勝で、第2単の長谷川が0-2から大逆転勝ちして勢いに乗った。決勝は愛工大名電に0-3で屈したが、福永は「強い相手に対して、持っている力をみんな出し切れた」と手応えを得た様子。この準優勝を自信に、もう一段上を目指して鍛錬を続ける。

(井上太郎)